

**平成 27 年度 「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」(地域会議)  
1 対 1 対談 (いなべ市) 会議録**

**1. 開催日時**

平成 27 年 5 月 11 日 (月) 13 時 00 分～14 時 00 分

**2. 開催場所**

ウッドヘッド三重 1 階 第 1 イベントホール  
(いなべ市北勢町阿下喜 1991)

**3. 対談市長名**

いなべ市 (いなべ市長 日沖 靖)  
(同席：いなべ市地域おこし協力隊 位田真希さん)

**4. 対談項目**

1 「自転車を活用したまちづくり」の取り組みについて

**5. 会議録**

**(1) 開会あいさつ**

**知 事**

みなさん、こんにちは。今日も大変お忙しい中、日沖市長におかれましては、1 対 1 対談のお時間を頂きまして、ありがとうございます。

1 期目 4 年間を通じて、毎年 1 対 1 対談ということで、各市長さん町長さんとそれぞれ市や町が抱える課題を一緒に考えようということやってきました。そして、この先般私再選させて頂きまして、この 2 期目のスタート、本年度のスタートだけじゃなくて 2 期目のスタートの 1 対 1 対談が今日でありまして、このスタートを飾るにふさわしい盛大な 1 対 1 対談としていただきまして、関係者の皆様に改めて感謝を申し上げたいというふうに思います。

試走の感想とか、また、この自転車を活用したまちづくり、こういうものについて後ほど対談をさせて頂きたいと思っておりますけれども、私の方から、来る 5 月 19 日の「ツアー・オブ・ジャパン いなべステージ」に向けて、三重県とも大変ゆかりのある元 F1 レーサーの片山右京さんから、このツアー・オブ・ジャパンにメッセージをいただいておりますので、拝読をさせて頂きたいと思っております。

『この度は、「第 18 回ツアー・オブ・ジャパンいなべステージ」が世界トップレベルで活躍する国内外の強豪選手の参戦のもと、盛大に開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。

僕にとって、三重県とは、レーサー時代に何度も参戦した鈴鹿サーキットのある大変なじみ深いところですが、その三重県のいなべ市で、国内最高峰の国際自転車レースが開催され、さらには Team UKYO (チーム 右京) の監督としていなべステージに参戦できることは、感慨もひとしおです。

僕と自転車レースとの出会いは、42歳のときでした。ある有名選手から競技用の自転車をプレゼントされ、それに乗った瞬間のあまりのスピード感到に圧倒されたのが始まりです。

いなべ市民をはじめ、来場される皆さんには、トップ選手の繰り広げるレース中のスピードを是非とも感じていただくとともに、Team UKYO の選手への熱い応援をよろしくお願いします。

最後になりましたが、本大会のご成功と、本大会を契機として、いなべ市の自転車を通じた地域づくり、国際交流、健康増進及び体育の向上に繋がることを祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。』

実はですね、非常に個人的な事なんですけど、私の妻とですね、私が結婚する前に、ちょうど付き合っている時に妻がシンクロを引退して、センチュリーライドというハワイのハワイ島を 100 マイル走る自転車レースがありまして、それにうちの妻が出場したんです。その時にちょうど片山右京さんのマシーンを借りて行ったり、片山右京さんに指導していただいて、自転車レースに出たというような事がうちの妻もありました。そういう意味でも非常にお世話になっていまして、今回のツアー・オブ・ジャパンを大変応援を下さっている片山右京さんからのメッセージを紹介させていただきました。

本当に今のいろんな環境問題とか健康のこと、観光・スポーツ様々考えても、自転車の活用というのが極めて重要な時になってきております。是非今日有意義な対談できればと思いますので、よろしくお願いします。

## いなべ市長

いなべ市長の日沖です。今日は鈴木知事、本当にありがとうございます。2回も試走をいただきまして、本当にありがとうございます。本当に鈴木知事就任以来、一番最初は土石流を見ていただきまして、2回目は蕎麦を打っていただいて、去年は子供たちと一緒に保育所、三重県の県産材活用ということでやっていただきました。本当に毎回毎回ありがとうございます。そして、いよいよツアー・オブ・ジャパン開催が来週になりました。本当にみなさんご協力をいただいて、本当にありがとうございます。最近自転車の方がいなべ市もよく走ってみえるようになりました。ですから、本当に自転車の町になればいいのかなと思ったりします。それもスタートが阿下喜で、ということですので、阿下喜をもう一回みなさん、パトロールのみなさん、盛り上げていただいております。

本当にありがとうございます。庁舎も今阿下喜でご無理言ってますけども、やはりここを中心に、自転車レースも繰り広げ、そして、世界のみなさんがいなべに注目いただける1日になればなと思っております。そしてまた、平成33年には、三重国体のロード会場となっておりますので、それまでずっと続けられるようにみなさんで盛り上げていただきますようお願いをしたいと思います。本当にありがとうございます。

## **(2) 対談**

### **1 自転車を活用したまちづくり**

#### **いなべ市長**

最近ですね、ツアー・オブ・ジャパンが決まる前から、いなべの町は、交通量の関係もあるんでしょうけど、走りやすさから自転車が少しずつ増えてきました。ですけど、ツアー・オブ・ジャパン開催が決まりました途端に、専用コスチュームで走っておられる方が本当に増えたなと思っております。ですから、そういう方が少し何かを食べて何かを見学いただく、観光に次には繋がるというのかなと思っております。そして、「いなべって良い町だな、住んでみたいな」ということで、最後は定住いただけるとうれしいなと思っておりますので、そういったきっかけになればと思います。それと、やはり「いなべ」というのをもう少し広めていくように、何かにつけて宣伝をしていきたいと思っております。そういう意味で一つの起爆剤になればと思いますので、またみなさんのご協力をいただけたらと思っております。

それで、観光を3~4年ぐらい前から始めております。ですけど、何をPRするかという時に、いなべにはお伊勢さんのような特産品がある訳じゃないんです。アルファード、ハイエースが特産品と言わざるを得ないような状況でございます。ですので、いろんな方が今やっと町おこしといいですか、特産品をやるう、色んな、はなもも会のみなさんが阿下喜のお雛さんとかで頑張っていたいております。そういう頑張っていたく芽が少しずつ出てきたかなと思っておりますので、それをもう少しPRをして、今度は名古屋市場とかに打って出たいと今年からは思っております。県さんは三重テラスで東京に打って出たいておりますけど、東京となると、観光ではちょっと遠いんですよね。いなべに来ていただこうとするとちょっと遠いので、名古屋市場から今、日帰りの何かツアーをやっていただけないかなと思っております。そして、名古屋市場にいなべの特産品を打って出たいなということで、手あげ方式でいなべの特産を名古屋の中心街で販売拠点といいですか、させていただこうかなと思っております。できるだけ売り込んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願

たいと思います。

## 知 事

ありがとうございます。まさに売り込みということですね、本当に今回のツアー・オブ・ジャパンとそれを一過性にせず自転車を活用して認知度を高めたい、いなべのことを知っていただこうという取り組みは、大賛成であります。

今回のツアー・オブ・ジャパンも、三重県がみなさんのご協力で日本橋に出している三重テラスで、5月19日にパブリックビューイング、よくワールドカップとかある時に一箇所に集まってみんなで試合の様子を見るっていうやつありますね。それを日本橋の三重テラスでやらせていただいて、自転車の専門家の方に喋ってもらって、12時にはいなべの蕎麦をみんなで食べていただくというようなPRを、三重県としてもお手伝いをさせていただこうと思っています。

実際に、私一昨年だったかな、平成25年に広島県に行きました。こういう市長さんと1対1対談みたいなと同じように、いくつかのちょっと離れた所で似たような課題を抱えている県知事さんと1対1対談というのをやっているのです。今年は2月に長野県に行って、木曽町に行って御嶽山の噴火の応援で行かせてもらったのですが、2年前広島県に行きました。尾道へ行きました。そこで、しまなみ海道を広島県知事さんと10キロサイクリングをさせていただきました。そして、その途中途中で、実は広島県はレモンの国内生産量が日本一らしくて、レモンを活かしたスイーツとか、レモンのジュースとかですね、そういうのを所々に挟みながらレモンをPRするというのをやっておられました。その尾道のサイクリング協会のみなさんが、自分たちの手でサイクリングを活用して知名度を上げていこうということで、各店舗に、今日試走が終わってから自転車をかけたラックをいろんな店舗に置いてもらって、自転車の人が店に行って特産品を食べたりできるように、そういう仕組みづくりを町で自主的にやってもらったりしているのもありました。そういうのも参考にですね、既にいなべ市さんはサイクルツーリズムということで、県からも補助金で少しお手伝いをさせていただいて、そういう仕組みづくりをさせていただいています。大事なことは行政のみなさんが一生懸命市長を先頭に頑張ってくださいのに加えて、住民のみなさんたちが盛り上げていただくというのが、特に尾道のサイクリング協会のみなさんと話した時とか、後でちょっと触れますけど台湾もすごい自転車盛んなので、そういうのを感じましたので、みなさんと一緒に盛り上げていける、そんな仕組みづくりが改めて知名度上げていくにも大事だなと思っています。そういう所もお手伝いさせていただければというふうに思っています。

せっかくですから、位田さんどうですか。今の取り組みのPRをしていただいたらどうですか。

### **位田さん**

いなべ市の中でも今、自転車ラックを置かせてもらってるお店も、今少しずつ増やしている状態になっています。SNS でもいろんな所に発信したりというところで、少しずつですけども始めているところです。それがもっと広がっていけばいいかなと思っています。お手伝いができたらいいと思います。

### **知 事**

どうですか。市長。

### **いなべ市長**

いなべ市には、滞在する所がないんです。ツアー・オブ・ジャパンでいろんな選手、関係者がたくさん来ていただくんですけど、いなべで宿泊所がないんですから、ほとんど四日市、桑名で宿泊をとということになります。これが継続すれば、何か宿泊所等そういったものができれば、民泊でもいいんですけどね。投資リスクがあれば民泊でも結構ですし、何か泊まれるような所の整備、そういった事が次の課題なのかなと思います。

### **知 事**

そうですね。サイクリングとキャンプを一緒にやる人とかあんまりいないんですかね。青川峡とかいなべってキャンプ、自然体験できる所がたくさんありますけれども、そういうのはあんまり一緒にやらないものなんですか。

### **いなべ市長**

バイクが違うような気がするんですよ。

### **知 事**

ああ、なるほど。

### **いなべ市長**

マウンテンバイクのような感じの。

### **知 事**

なるほどなるほど。でも、確かに宿泊とか、自転車専用レーンとか道路を安

全にサイクリングを楽しんでいただくようなハード整備みたいなものも、大事なかなというふうに思っています。

実は、県の一つの課題としても「自転車」と一口にいても、スポーツの時はスポーツの部局で、健康増進の時は健康づくりの所で、道路整備っていったら道路の所で、環境問題は地球環境の所で、ばらばらになっています。少し自転車を活用した地域づくりの窓口みたいなものをしっかり作って、地域のみなさんと連携していけるような、そんな取り組みをしていきたいなと思っています。また県の方もそういう体制を整えながら市町で頑張っていただくのを応援できればなと思っていますので、是非連携をしてやらせていただければと思います。

### **いなべ市長**

それと、子供たちの自転車の事故ですね、そういったことが結構課題になっているんです。自転車は車なんです、ちゃんと左側を車道で走りましょうという事に世の中なりつつあるんですけども、ツアー・オブ・ジャパンが来ることによって、これだけのハイスピードでプロの方が走られますので、これは車なんだという意識を持っていただいて、やはり自転車は車両ということを徹底できる一つの機会になるのかなと考えています。それで、中学校の子、小学校の子は低速で歩道も走っても結構ですよということにはしてあるんですけども、それをもう少し明確化していけたらなと思います。

### **知 事**

そうですね。今日から全国一斉に春の交通安全運動がスタートして、交通パトロールのみなさんも来ていただいております。今日県庁でやった出発式も中学生の子らが自転車で20台くらい来てもらって、その自転車の安全利用っていうのを今回の一つの交通安全の重要項目の一つに掲げてきました。今市長おっしゃっていただいたように交通ルールとかマナーとか、そういうのを一緒に子供たちに教えていってあげるような事ができればいいと思います。あとは大人がそれをしっかり守っているということが子供たちにとっても大事なことだと思いますので、そういう啓発活動も我々もしっかりみなさんの協力も得ながら頑張っていきたいなというふうに思います。

### **いなべ市長**

あと、サイクルラックをいなべ市も整えるように、20箇所くらいサイクルラックを飲食店に置かせていただいているんですけど、やはり自転車の盗難が多いんです。傘と自転車は天下の回りものと思っていらっしゃる方がいらっしゃる

いまして、乗り捨てというような感じで乗っていく。私の娘も盗られまして、しばらくしたら畑で出てきました。お巡りさんに見つけていただいたんですけど、畑から出てくるんですよ。大体、乗り捨てるんですよ。ですから、そういった盗難の啓発にも。今度は自転車といってもスポーツ自転車は車より高いもので100万、200万くらいする自転車なんです。私も今回の機会で「買え」と言われたんですけど「それは無理」と言いました。ですから、この自転車も盗難防止という意味で、ドライバーズ自身も気を付ける、2重ロックを警察の方で啓発していただいていますけども、盗難防止という意味でも啓発の機会になればなと思います。

## 知 事

そうですね。スポーツ自転車は、本当に高価なんですよ。

少し台湾のご紹介させていただきますと、今、三重県は台湾と非常に交流を進めています。で、その台湾に台北って一番大きい首都がありますが、それを取り囲むように新北市という市があります。人口が台湾最大の市ですけども、その中に三重区と書いてサンチョウクという所があるんです。そういうのをきっかけに観光協定を結んでいるんですが、新北市には、25キロくらい、川とか海とか沿いの所にはずーっとサイクリングロードがあります。台湾には「ジャイアント」という大きい自転車メーカーがありまして、ジャイアントが提供して安全に利用できるレンタルサイクルの場所であるとか、民間企業主導の啓発活動とかも一生懸命やっていたらいます。そういう啓発活動、盗難防止みたいなものは、行政や警察も頑張りながら、みんなの目で見えていくっていうんですかね。そういうのが大事だと思います。いろんな企業のみなさんとか地域のみなさんとか、そういうのを巻き込む形で盗難防止の取組もやればと思います。あとは自転車の海外の取り組みで言いますと、ロンドンの市長のボリス・ジョンソンさんという人気のある市長さんがいるんですけど、彼は通勤も全部自転車でやっています。ロンドンの街中を渋滞させないために、非常に自転車のPR、ある一定の区画からは自転車しか入れないという規制もやったりとかしながら、ロンドンでもたくさんの方が自転車を活用しています。そういう啓発活動に加えて、市長とか私とかが率先して自転車を使ってる姿を、今日のようにみなさんに知ってもらおうということも大事なと改めて思いました。

## いなべ市長

自転車は、本当に自然に優しくて、体にも優しい乗り物ですので、できるだけ普及をしていきたいなと思います。また、いなべでは自動車産業しかないも

のですから、自転車部品では堺のシマノさんが圧倒的シェアを持つんですけど、何かいなべにも自転車を生業とするような、そういう方が根付くような、そしてもう少し普及と産業生業ですね、そういったことをできたらなと思います。

## 知 事

シマノさんが今一番シェアが高いんですね。シマノさんは、本社工場が堺にあるんですね。

## いなべ市長

ツアー・オブ・ジャパンの発祥なんです。だから大会は堺からスタートします。仁徳天皇陵の横の堺ステージからですね。

## 知 事

ここですね。スタートの所ですね。

位田さん。自転車の魅力を一言どうですか。

## 位田さん

本当に大人から子供、小さい子までみんなが乗れるものというところで、乗ってて単純に気持ちが良いので、もっと楽しさというのが伝わってほしいかなと思っています。

## 知 事

伝わるには、どういう人がどういう事をやればいいとか、そういうアドバイスありますか。

## 位田さん

そうですね。それこそ知事だったり市長だったりも率先して乗っていただいている部分もあるんですけど、やっぱり自分から、誰かがやっているからではなくて自分から乗ってみたりとか、別にそんなすごくいい自転車に乗らなくても、家にあるものとかでもいいので、そこから自転車の気持ちよさを知ってもらえればうれしいなと思います。

## 知 事

市長、この自転車のまちづくりをやっていかれる中で、まず優先的に取り組む事は、今のラックの整備とかをやってみんなが自転車を活用できる地域の環

境整備みたいなのを優先的にやっていかれる、そんな感じですか。

### **いなべ市長**

私は、まず自転車のマニアの方に来ていただきたい。

### **知 事**

まず自転車のマニアの方が、「自転車やるならいなべ」ということで、全国から自転車好きが来るというのをまず第一に。

### **いなべ市長**

そういう町にしたいなと考えています。

### **知 事**

なるほど。

### **いなべ市長**

市民の皆さんは、移動手段を自転車で、ってなっても、いなべは人口密度が疎でございますので、なかなか難しいんです。だから、観光も含めて自転車でいなべに来ていただく。

そして、少しお買い物をしていただいたり泊まっていたくのが一番いいんですけど、そういったので広げていけるといいかなと。

### **知 事**

なるほど。県内外の自転車好きの人がいなべに来て、自転車を楽しんで、ここでお金を落としてもらうというのを、まず最優先課題としていくという感じですね。じゃあ我々もそれに協力して、本当にサイクルツーリズムという形で楽しんでもらえるような状況を目指して。あとは、市が先頭になって、併せてみなさんにやっていただいて、おもてなししていただく市民のみなさんにご協力をいただいてという、そういう感じですかね。なるほど、分かりました。

## **(3) 閉会あいさつ**

### **知 事**

はい。今日はどうもありがとうございました。位田さんもありがとうございました。あと今日もみなさんお忙しい中、傍聴にも来ていただきまして、ありがとうございました。花束もいただきまして、ありがとうございました。

やっぱり地域が、今地方創生といわれる中で、なんか金太郎飴のようなまちづくりで誘客促進ではダメだと思うんですね。

そこで、今回いなべ市さんは、「自転車」で、今三重県の中でも明確に自転車で人を呼びたいという取り組みをやっていただいている所って、まだないと思います。そういう意味では三重県の中でいなべ市の特色を活かして、今回のツアー・オブ・ジャパンを一過性にせず、それを誘客に結び付けていくという、本当に地域の実情、地域の特色に合わせた地域づくりの取り組みというのは、本当の地方創生だというふうに思います。我々県としてもしっかり応援をしていながら、一緒に連携して、一人でも多くの自転車マニアがこのいなべを訪れてくれるように私たちも頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくをお願いします。今日はどうもありがとうございました。